

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		でらび〜		公表日		令和 7 年 2 月 7 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	利用者人数によってスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	それぞれの利用者さんが十分に支援を受けられるように配置されている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	限られたスペースを必要に応じて仕切って活用している。	必要に応じて、空間を仕切って活用しているので分かりにくさはある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	掃除、消毒は毎日行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	個室やプライベートスペースを作る場所に限りがある。	個別の部屋は無いが、感染症が疑われる場合には部屋を一部隔離したり、和室を使用していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	職員間でミーティングを行い、振り返りができている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	自己評価アンケートの結果の報告をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎朝のミーティングで活発な意見交換ができています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		外部の第三者委員会については現在検討中。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	内部の研修は年3回、外部の研修は1職員につき年1回以上参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	個別支援計画の作成前会議で話し合いをして、課題分析ができています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	個別支援計画の作成前会議で職員が意見を言える環境にある。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	ムーブメントアセスメントやそれに基づく評価を使用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	チームで提案しあって活動プログラムを考えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	身体を動かすこと、製作、季節を感じること、感触遊びなどバランスを考えながら療育を行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	その日の利用者さんの体調を考慮し、療育を変更したり、個別にしながらか対応している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	毎朝のミーティングをしている。利用者さんの体調の変化なども全職員で情報共有している。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	前日も振り返りも含めて、朝ミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	医療機関や発達センター、特別支援学校と連携を密に行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	就学事前のグループ面談から、入学後のフォローまで細かく行っている。 情報共有、相互理解もその都度行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	保育所等との交流はないが、近くの公園に遊びに行ったり、きょうだい児と一緒に遊ぶ機会はある。	地域のこどもと活動する機会はなかなかない。外出できる時間も限られており、計画し出かけることも難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	ご家族にその日にあったことを直接お伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	家族の特性に配慮しながら情報伝達方法など工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	10	0	でら〜とまつりに地域の方が参加してくれています。積極的に地元事業所とお付き合いをさせていただいています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	でら〜と入口にファイルで置いてある。保護者、職員にも周知徹底していきたい。	マニュアルについて知らない職員もいたため、しっかり周知していく。研修などでも発信していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	でら〜と入口にファイルで置いてある。保護者、職員にも周知徹底していきたい。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	事前に保護者からきちんと情報提供していただき、日ごろの体調の変化も共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	食物アレルギーのある方は検査結果に基づく医師からの指示書を提出していただき、調理師のできる範囲の除去食を提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	安全計画は年度初めに作成し、研修で周知している。意見交換も行い、安全計画を十分理解し実施できるようにしている。	安全計画を知らない職員もいたため、しっかり周知していく。ご家族にも周知していることも職員に伝えていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	面談時に安全計画について説明している。質問や不安なことがある場合には、そこで意見をもらっている。	安全計画を知らない職員もいたため、しっかり周知していく。ご家族にも周知していることも職員に伝えていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットは事業所内のみではなく、法人内で共有して、検討、対策まで共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	内部研修で研修を行ったり、外部の権利擁護の研修、虐待防止の研修に参加して、法人内で共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1	身体拘束はないが、虐待委員会や研修で支援の中で当たるものはないか話し合っている。	